

ゆきしろみず



東通村小田野沢地区でパチリ! 芝桜がきれいに咲いていますね。
ソメイヨシノもいいですが、足元に咲く桜もきれいです。 ✨

(東通小学校エネルギー教室の様子)



《今回のトピックス》

- ★1ページ
青森行動計画を策定しました
- ★3ページ
東通小学校エネルギー教室を開催しました

Vol **35** 2019年
春号
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
東通原子力建設所

主な内容

- ごあいさつ 1
- お知らせ 1
- 地質調査 2
- 周辺整備作業 2
- 東通小学校エネルギー教室 3
- 東通村を知りたい～下北ジオパーク編～ 3
- ちょっと豆知識 3

アンケートハガキを
ご返信いただきました
方の中から、抽選で
10名様に、地元特産品
をプレゼント!!

アンケート締め切り

2019年6月10日



ごあいさつ

東通村の皆さまには、日頃より私どもの事業へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、発電所の本格工事再開につきましては、見通しをお示しできない状況が続いており、改めてお詫び申し上げます。

さて、東通村でも若葉芽吹く季節を迎えておりますが、私どもの建設所では、引き続き、昨年8月より開始いたしました地質調査のほか、現場の維持管理と安全品質面を含めた周辺整備作業を行っております。

また、本年3月には、東通村をはじめ青森県内における原子力事業と、地域社会との共創に向けた取り組みを推進するための『青森行動計画』を公表するとともに、具体的取り組みについても検討を進めているところです。

私どもは、引き続き少しでも地域のお役に立てるよう、安全最優先で発電所建設に取り組むとともに、地域に根ざした企業として「地元本位」の活動に取り組んでまいりますので、これからも東通村をはじめ、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



所長
新井 史朗

お知らせ

(2019年3月28日公表)

青森行動計画を策定しました

～ここで、「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける」～

当社は、地域に根ざして、東通村をはじめ青森県内における原子力事業をやり抜く決意を改めてお示するとともに、より地域に根ざした事業活動を進めながら地域の未来にも貢献していくための方針を「青森行動計画」として取りまとめ、公表いたしました。

また、6つの基本姿勢を柱とした、本行動計画を具体化していくための事業推進体制として「青森事業本部」を設置し、地元本位の業務運営や地域の皆さまとの信頼関係の構築に努めるとともに、地域の一員として、地域と共に持続的な発展に貢献できるような取り組みを検討、実施してまいります。

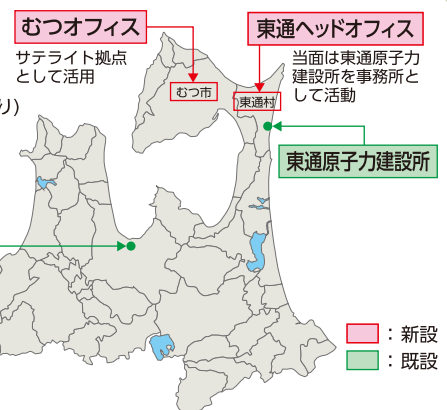
【青森行動計画の概要】 6つの基本姿勢

1. 安全性の追求
2. 原子力事業の推進
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築
4. 持続可能な地域の共創
5. 原子力人財の育成・確保と技術の継承・発展
6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化

(青森事業本部の概要)

1. 設置時期
2019年度上期中
2. 各拠点場所(右記のとおり)
東通ヘッドオフィス
青森オフィス
むつオフィス

青森オフィス
現在の「青森事務所」所在地



地質調査の進捗状況 ～2019.3現在～

前号でお知らせしました「東通地点の本格的な地質調査等の実施について」(2018年6月29日公表)現在の進捗状況をお知らせいたします。

〈地質調査の実施項目〉

2018年8月から2020年度にかけて、以下の調査を実施しています。

●ボーリングによる地質・地質構造の調査

→2018年度分として全14本の地質調査ボーリングを8月に着手、2月に作業完了。2019年度も継続して調査を実施予定です。

●試掘坑による地質・地質構造の調査

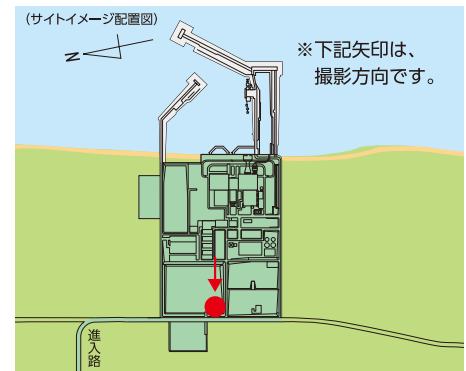
→2019年1月より立坑工事(直径約7m、最大深さ約30m、全4坑中2坑)に着手、冬期中(1～3月)も工事を継続して実施。5月頃より調査坑に着手予定です。



立坑内部の様子



立坑掘削中の様子



〈用語解説〉●立坑(たてこう):垂直方向に掘られた地下の道

周辺整備作業 ～2019年度の概要～

周辺整備作業とは、設備の維持・管理や安全・品質を確保するための作業のことです。昨年度に引き続き、今年度の主な作業の進捗について、その一部をご紹介します。

A.発電所南側ヤードの盛土造成



発電所建設作業ヤードを確保するために、土捨場から運搬した土砂をセメントにより改良を行い、盛土造成を実施します。

B.敷地南側の管理用道路の整備

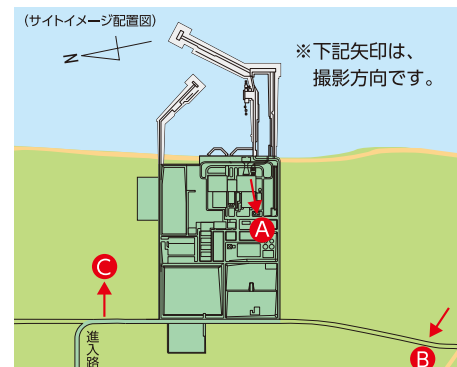


敷地周辺柵を管理するための道路を設置しており、今年度は敷地南側に管理用道路を設置します。

C.ボーリングコア収納倉庫の増築



ボーリング調査で採取するコアを収納するための倉庫を1棟増築しており、今年度も増築する予定です。



〈用語解説〉●ヤード:作業場 ●ボーリングコア:地下の地質や地質構造を調査するため、地中を掘削(ボーリング)し、岩石を採取した長い円柱状の地質サンプル

私たちは、これらの作業を引き続き安全最優先で進めてまいります。

東通小学校エネルギー教室を開催しました!

2019年2月14日(木)東通小学校の4年生と5年生を対象に開催しました。

エネルギー教室については、東通村の将来を担う児童に対し、電気や省エネルギー等について、正しい知識と関心をもっていただくために、継続的に実施しているものです。

4年生



5年生



エネルギー教室の内容

4年生:レモン電池や静電気を発生させる実験

5年生:手回し発電機を使って、ライトの点灯や車を走らせる実験



東 通 村 を 知 り た い ~ 下北ジオパーク編 ~



(むつ市公式ホームページ 下北ジオパーク)より引用

今回は^{さるがもり}「猿ヶ森砂丘ジオサイト」について、ガイド員である東通村観光協会の氣仙会長にお聞きました。



Q1 「猿ヶ森砂丘ジオサイト」について教えてください。

A1 下北東部の太平洋に面した海岸には、日本でも最大規模の砂丘である猿ヶ森砂丘があります。猿ヶ森砂丘は、海面変化にもなって海岸と平行に形成された小高い丘が、5,000年前以降の風食と人間活動の影響でできたものです。

Q2 周辺には何かありますか。

A2 ヒバの埋没林があります。砂丘の砂は風で飛ばされて絶えず移動します。内陸部まで飛ばされた砂にヒバが被覆され、埋没林が形成されました。猿ヶ森地区では長い年月をかけてできた地層に埋もれた約1,000年前のヒバを見ることができます。

★今回も説明していただきありがとうございました。「猿ヶ森砂丘ジオサイト」の大半は、一般の立ち入りはできませんご注意ください。

ちよこつと豆矢知識

「アイヌ語由来の地名」

猿ヶ森地区(砂丘)の周辺には、砂浜にちなんだアイヌ語起源とされる地名がいくつかあります。

例えば、猿ヶ森は「サル・カ・モライ」からきてるとされ、「湿地の上流にある流れの遅い川」という意味だそうです。(※諸説あり)

編集後記(担当:渡部)

前号で減量を宣言していた私ですが、早速リバウンドしておりダイエットの難しさを痛感しているこの頃です。さて、今回の「ゆきしろみず」は、いかがでしたでしょうか。今後とも、皆さまに分かりやすい誌面構成に努めてまいりますので、ご意見などありましたらお気軽にお寄せください。



お問い合わせ

東京電力ホールディングス株式会社 東通原子力建設所 広報グループ
〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303
TEL 0175-45-7052・FAX 0175-48-2019 (月~金・平日午前9時~午後5時)
〈ホームページアドレス〉 <http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>
「ゆきしろみず」のバックナンバーは上記ホームページでご覧いただけます。

(2019年4月発行)

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。私どもも雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。